



埼玉県のマスコット  
さいたまっち コバトン

# 埼玉県四半期経営動向調査

(令和6年7～9月期)

## 県内中小企業の景況感

県内中小企業の景況感は、一部に足踏み感がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。先行きについては改善の動きがみられる。

### 特別調査

価格転嫁について  
SDGsの認知・取組状況について  
生物多様性及び  
ネイチャーポジティブの認知・取組状況について

埼玉県では、四半期ごとに県内中小企業を対象にアンケートとヒアリングによる経営動向調査を行っています。今回は令和6年7～9月期についての結果報告です。アンケート調査は、県内中小企業2,200社に送付し、1,387社から御回答いただきました。

(回答率 63.0%)

令和6年10月18日

埼玉県産業労働部



彩の国 埼玉県

## はじめに

埼玉県では、県内主要業界・業種の景況について、その現状と見通しに関する調査を四半期ごとに実施し、産業労働施策を推進するための基礎資料として活用しております。

## 調査結果の公表

アンケート及びヒアリング調査の結果全体を取りまとめ、原則として、調査月の翌月中旬に公表します。アンケート調査の集計表は埼玉県ホームページに掲載しております。

埼玉県ホームページ：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/doukou.html>

## 調査方法の概要

- 1 調査の方法 （1）書面によるアンケート調査 （2）業界団体及び個別企業へのヒアリング
- 2 調査対象期間 令和6年7～9月（調査日：令和6年9月1日時点）
- 3 調査対象業種及び回答数

	対象業種	対象企業数	回答数	回答率
		企業	企業	%
アンケート調査	製造業	960	579	60.3
	非製造業	1,240	808	65.2
	計	2,200	1,387	63.0
ヒアリング調査		団体・企業		
	製造業	29		
	建設業	3		
	小売業	11		
	飲食店	1		
	情報サービス業	3		
	運輸業	1		
	サービス業	2		
	計	50		

※ アンケート調査先は、『株式会社東京商エリサーチ埼玉支店』の企業情報から県内中小企業を業種別に抽出しました。

※製造業（12業種）

食料品製造、繊維工業、家具・装備品、パルプ・紙・紙加工品、印刷業、化学工業、プラスチック製品、鉄鋼業・非鉄金属、金属製品、電気機械器具、輸送用機械器具、一般機械器具

※非製造業（7業種）

建設業、卸売・小売業、飲食店、情報サービス業、運輸業、不動産業、サービス業

業種別の回答数及び回答内容については、ホームページに掲載している集計表を御覧ください。

## 4 書面アンケートの集計方法

アンケート調査については、業種別に景気の動向を観測できる項目を抽出し、前期との対比による増減又は好転・悪化の割合（%）の差をDI値として集計しています。

### DI（景気動向指数：Diffusion Index）とは

増加（好転）と回答した企業割合から減少（悪化）と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことです。

〈例〉「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%

$$DI = 50\% - 30\% = 20$$

（注1）本文中の割合（%）については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、景況感、売上げ、資金繰り及び採算の各DI値は、±0.1の範囲で差異が生じることがある。

（注2）設問によっては未回答もあり、必ずしも回答数の総数（1,387件）とは一致しない。

## 目次

I. 調査結果概要	4
1 経営者の景況感と来期の見通しについて	4
(1) 景況感	4
(2) 来期の見通し	4
2 売上げについて	5
3 資金繰りについて	5
4 採算について	5
5 設備投資について	6
6 ヒアリング調査の概況	6
II. 調査結果の詳細（アンケート調査からみた経営動向）	7
1 経営者の景況感と来期の見通しについて	7
(1) 現在の景況感	7
(2) 来期（令和6年10月～12月期）の景況感見通し	8
2 売上げについて	10
(1) 当期（令和6年7～9月期）の状況	10
(2) 来期（令和6年10月～12月期）の見通し	10
3 資金繰りについて	11
(1) 当期（令和6年7～9月期）の状況	11
(2) 来期（令和6年10～12月期）の見通し	11
4 採算について	12
(1) 当期（令和6年7月～9月期）の状況	12
(2) 来期（令和6年10月～12月期）の見通し	12
5 設備投資について	13
(1) 当期（令和6年7～9月期）の状況	13
(2) 来期（令和6年10～12月期）の見通し	14
III. ヒアリング調査からみた企業の声	16
1 製造業	16
(1) 一般機械器具	16
(2) 輸送用機械器具	17
(3) 電気機械器具	18
(4) 金属製品	19
(5) プラスチック製品	20
(6) 食料品製造	21
(7) 鋳鉄物	22
(8) 印刷業	23

2	小売業	24
	（1）百貨店	24
	（2）スーパー	24
	（3）商店街	25
	（4）その他の小売業・卸売業	26
3	宿泊業	26
4	飲食店	27
5	情報サービス業	28
6	サービス業（旅行業）	29
7	運輸業	29
8	建設業	30
IV.	特別調査	31
1	価格転嫁について	32
	（1）価格交渉（相談）の実施状況（回答数：1, 360社・単一回答）	32
	（2）1年前頃と比べた価格交渉（相談）のしやすさ（回答数：1, 372社・単一回答）	34
	（3）価格転嫁の実施状況（回答数：1, 339社・単一回答）	35
	（4）直近1年間の賃上げの実施状況について（回答数：1, 334社・単一回答）	38
	（5）「パートナーシップ構築宣言」の登録状況（回答数：1, 366社・単一回答）	39
	（6）「価格交渉支援ツール」及び「収支計画シミュレーター」の認知度	40
2	SDGsの認知・取組状況について	41
	（1）SDGsの認知度（回答数：1, 347社・単一回答）	41
	（2）SDGsに取り組むに当たっての課題（回答数：1, 285社・複数回答）	44
	（3）SDGsに取り組む上で期待する支援（回答数：1, 261社・複数回答）	45
3	生物多様性及びネイチャーポジティブの認知・取組状況について	46
	（1）生物多様性の認知度（回答数：1, 330社・単一回答）	46
	（2）ネイチャーポジティブの認知度（回答数：1, 339社・単一回答）	47
	（3）ネイチャーポジティブに取り組むに当たっての課題（回答数：1, 287社・複数回答）	49
	（4）ネイチャーポジティブに取り組む上で期待する支援（回答数：1, 275社・複数回答）	50
4	特別調査結果一覧	51
	（1）価格転嫁について	51
	（2）SDGsの認知・取組状況について	52
	（3）生物多様性及びネイチャーポジティブの認知・取組状況について	52
V.	付表 売上げDI・資金繰りDI・採算DI・設備投資実施率の推移	53
参考	アンケート調査票	59